

東日本ユニオン

TOKYO

申1号

JR東日本労働組合東京地方本部

発行責任者 福田 高夫

発行 東京地方本部教宣部

2016年10月15日 NO.32

地本大会発言に基づく申し入れを行う。

東京地本は9月3日に第4回定期大会を開催しました。大会では安全・安定輸送とJR東日本の発展のために、日々職場で奮闘している組合員から切実な発言がありました。地本は問題解決のために、10月4日に以下の通り東京支社に申し入れを行いました。

1. 6月に発生した常磐線松戸・北松戸間での電車と作業用トロリーが衝突した事故は、事故を教訓化することの難しさを露わにしました。この間の事故を教訓にした安全対策を支社・現場間のみならず、パートナー会社との間においても再度議論を作りだし、同種事故の撲滅に努めること。
2. 社員のスキルアップや技術習得などのための研修は大切なことです。しかし、そのために担当する業務が滞ってしまっては本末転倒です。また、育児休職などの取得者が増えている。制度を不安なく活用できる体制が必要である。全系統の要員需給を明らかにし、適正な要員配置を行うこと。
3. 湘南新宿ラインや上野東京ラインなどの開業により、他支社間の乗り入れが増えている。乗継詰所や休養室などの設備点検を適宜に行い、改善に努めること。
4. エルダー制度を受ける社員の、出向先決定が遅いと言われている。「ライフプランいきいきガイド」などで提示しているスケジュールにより行うこと。また、エルダー再雇用を希望する社員の不安を解消するため、再雇用先の要員需給を明らかにし、社員との意見交換をこまめに行うこと。

以上

要求実現に向け力を合わせよう！